



10月8日に行われた王滝森林鉄道フェスティバル。全国から約500名の森林鉄道ファンで賑わった

9月定例会	2P
議案審議・一般質問	3～7P
議会報告他	8P

9 月定例会一般会計補正予算 8488 万円を追加

8 月臨時議会で田の原観光センター指定管理者決定

令和 5 年 9 月定例会に提出された一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ 8488 万 8 千円を追加し、歳入歳出予算の総額は 21 億 948 万 5 千円となった。

8 月臨時議会

◆一般会計補正予算（専決処分）

王滝村消防団県大会出場にかかる費用 94 万円

◆田の原観光センターの指定管理者の指定

6 月定例会で議決した田の原観光センターの指定管理者から、辞退届が提出されたため再度公募を行い、新たな指定管理者が指定された

名称 : 長野県製菓株式会社
指定期間 : 令和 5 年 8 月 28 日から
令和 6 年 10 月 31 日まで
業務範囲 : (1) 施設の維持及び管理運営
(2) 使用許可等に関する業務
(3) その他施設の維持管理運営

○質疑

問（倉橋）指定管理者の運営計画を伺う

答（総務課長）物販を中心に行う。従事者数は 2 名。営業時間は 10 : 00 - 16 : 00。今年に関しては無休予定。自販機の設置、店舗での飲料、パン、カップ麺の販売を予定している

問（倉橋）指定管理料の交付について伺う

答（総務課長）営業日 1 日あたり 3 万円で収支実績による精算が基本。税引き前の利益が生じた場合、18%の施設利用料を払ってもらうのが基本協定のベースになっている



田の原観光センターの様子 今年は何物販のみ

9 月定例会

◆財産管理費 2829 万円

・田の原新施設建設に係る業務委託料
※過疎債

◆企画費 200 万円

・来年度隊員募集に向けて外部人材を活用した募集、受入伴走支援に係る業務委託料
※特別交付税交付金

◆道路維持費 380 万円

・維持補修工事費、りんどう平別荘地内の除雪に係る除雪車借上料の一部補助費等

◆林業費 488 万円

・林道樽沢線細沢橋修繕工事にむけた設計委託料
※水と緑のふるさと基金

◆消防費 199 万円

・田の原、王滝頂上間の遠距離無線装置購入費、田の原無線 LAN 復旧工事費

◆教育費 276 万円

・奨学金貸付金の追加計上

◆公営企業支出金 816 万円

・ロッジ三笠浴室改修補助金や電気料負担金、ざぶん維持管理に係る経費

○質疑

問（吉田）来年度隊員募集に向けて外部人材を活用した募集・受入伴走に係る業務委託料として 200 万円が計上されているが、具体的な内容説明を

答（企画推進室長）社会福祉分野の人材確保は村にとっても重要な課題である。今年度社会福祉分野の協力隊の応募が全くなかったことを受け、国の自治体向けサポートプランを活用することとした。財源については上限 300 万円まで国の特別交付税措置がある。佐久穂町でこのプランを活用し採用に至ったという事例があることから、当村でも同じ外部団体に委託する予定である。

問（吉田）社協の会議でも人材不足が指摘されている。こうしたプランも有効に活用しつつ、人材確保に努めていただきたい。

令和4年度王滝村一般会計決算認定

令和4年度の王滝村一般会計決算額は、歳入総額22億9,945万2千円、歳出総額21億9,969万7千円である。令和3年度との比較は、歳入64万6千円の増、歳出5,252万5千円の増となり、歳入歳出ともに昨年度と比較して増額となった。収支状況は、実質収支が8,100万の黒字決算となり、実質単年度収支は2,708万1千円の赤字決算となった。歳入の執行状況は、予算額23億6,728万9千円に対し、収入済額22億9,945万2千円で執行率97.1%となっている。又、調定額に対する収入未済額は1,108万9千円であった。現年課税分、滞納繰越分を合わせた村税の徴収率は94.5%で、前年度より0.9%の増となっている。滞納額は1,344万1千円で前年度より272万6千円、率で16.7%減となっている。歳出総額は、予算額23億6,728万9千円に対し支出済額21億9,969万8千円で、予算に対する執行率は92.9%である。

財政収支の状況

単位：千円

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入	2,371,739	2,298,806	2,299,452
歳出	2,255,723	2,147,172	2,199,697
形式収支	116,016	151,634	99,755
翌年度に繰り越すべき財源	1,862	30,431	18,755
実質収支	114,154	121,203	81,000
単年度収支	2,324	7,049	▲40,203
基金積立金（財調分）	112,631	219,325	158,188
繰上償還金	0	0	0
基金とりぐずし額（財調分）	134,644	189,125	145,066
実質単年度収支	▲19,689	37,249	▲27,081

監査委員意見（合同）

○ 一般会計

第5次王滝村総合計画（令和3年度～7年度）が令和2年度に策定され、新たな村づくりの基本目標として、「森と水の恵みをつなぐ村づくり」「未来に輝く心ゆたかな人づくり」、「地域の特性を活かした産業の村づくり」、「持続可能な村を創り出す体制づくり」など6つの目標が定められ、令和4年度は2年目にあたり村政に取り組みられた。平成26年の御嶽山噴火災害から8年が経過し、王滝頂上から剣ヶ峰への登山道の令和5年度の規制緩和に向けて避難壕の設置など安全対策が進められた。

国内における新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が進められているものの変異株の影響で令和4年度においては第7波ということで、これまでの波を上回る規模で感染が拡大した一方、重症患者の延べ数は少ない傾向にあった。村においては新型コロナ対応地方創生臨時交付金の活用や感染拡大防止に努めたことにより各種の事業を実施することができ

た。政府発表では「ウィズコロナの考えの下、経済社会活動を極力継続する取り組みにより、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は小さくなり景気は前向きな動きが続いている。一方、コロナ禍からの世界同時的な景気回復、ウクライナ情勢の影響などから30年ぶりの物価上昇率に直面し先行きについてもウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の更なる高騰や希少物資の供給懸念、世界的な金融政策に伴う金融資本市場の変動など様々な下振れリスクがあり、これらへの万全な対応とコロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとする必要がある。」とされており、村においても今後このような情勢を見極めながら村政に努める必要があると思われる。

令和4年度における王滝村の一般会計の決算状況は、歳入が22億9,945万円で対前年度比64万円（0.03%）の増加、歳出は21億9,969万円で同5,252万円（2.4%）の増加となり、歳入歳出差引額は9,975万円となった。歳入は、災害に係る特別交付税や新型コロナ地方税

減収補填交付金の減少、過疎債の減少はあったものの、地方創生臨時交付金、消防費の国庫支出金や県支出金の増加木材売払による財産収入などにより若干前年度を上回った。歳出は、古道整備やDMO 補助金などの商工費は減少したものの、御嶽山避難壕の設置などの普通建設事業費や御岳スキー場関連の裁判解決金などにより増加した。翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支は8,100 万円で約4,020 万円(33.2%)の減少、財政調整基金の積立と繰入を含めた実質単年度収支は2,708 万円の赤字(3年度3,724 万円の黒字)であった。

年度末の財政調整基金残高は13億5,835 万円で前年度比1,312 万円(1.0%)の増加、一般会計が保有する特目基金の残高合計は3億3,617 万円で125 万円(1.5%)の増加となった。地方債残高は、一般会計24億7,135 万円で前年度比242 万円(1.0%)の減少、特別会計は1億706 万円で1,406 万円(11.6%)の減少である。

村の財政運営を財政指標で見ると、財政力指数は0.20%で前年度と大きな変化はなく、経常収支比率は77.7%で5.2ポイントの増加、公債費負担率は14.5%で1.5ポイント増加しており、健全化判断比率となる「実質公債費比率」は6.7%で0.3ポイントの増加、「将来負担比率」は充当可能財源が将来負担額を上回るため「算定なし」、資金不足比率の対象となる公営企業はなかった。今後もこれら指標の推移を見守り、安定した財政運営に取り組まれない。

次に、一般会計の歳入における村税について、収納対策の取組は昨年に引き続き一定の成果を上げていることが確認でき評価できる。しかしながら、村税の収入未済合計額は依然として多額であることから引き続き収入未済の発生防止に取り組まれない。一方、特別会計における収納事務手続きの一部については改善を望む。また、今後、村の人口減少とともに依存財源である地方交付税の減少が予想され、併せて財政調整基金の減少も見込まれるため、ふるさと納税のさらなる活用など財源確保の工夫と



監査委員による決算の様子

もに、定住・移住促進など人口減少対策を含めた総合的な施策により安定した行財政が図られるよう要望する。

次に、御岳スキー場関連の訴訟について、被告である村は裁判所の和解勧告により和解金2,000 万円を支払うことで結審したところである訴訟に至った一連の経緯や裁判の経過については都度説明はあったものの、その後の弁護士からの報告や裁判所の判断の内容を見ると、裁判に至るまでの村側の拙速な対応と事務手続きの不備があったと指摘せざるを得ない今回の一連の経過や事務手続きの進め方等について、改めて庁内で検証することが必要と思われる。今後類似事案が発生した場合は、第一に庁内で情報を共有すること、仮にその判断が困難と思われるときは、法律事務所など専門家による適切なアドバイスを受けるなど適正な事務手続きを遅滞なく進められたい。

次に、教育関係について、王滝中学校は生徒減少により今年度から木曾町中学校へ編入され、生徒の通学手段の確保対策が実施されたことや、小学校における村単独教員の配置など実情に応じた施策は評価できるものである。一方、現在の小学校において児童のいない学年も見受けられ、数年後にはさらに減少が進むことが見込まれ学校の将来が憂慮される。定住・移住促進をも含めた総合的に対策が必要であると考える。

○公営企業観光施設事業会計

御嶽スキー場の入込客数は、降雪にも恵まれ33,833 人、前年比8,167 人の増加となったが、連休等においては、リフト待ち時間や飲食提供等において長時間を要したことなどに苦情があったと伺っている。現状においてスキー場内の施設改修は困難であるため、現施設での入込客数の増加を図るためには、平日対策、柔軟なリフト運行時間の設定、飲食提供の見直しなど一層の企業努力が必要である。については、村と指定管理者は常に情報などを共有することを心がけてほしい。

公営企業会計からスキー場への歳出は指定管理料も含め、4年度はおよそ1億7,300 万円で、前年比2,100 万円の減少となっている。スキー場の営業収入は約1億1,537 万円であり、数字の上からはどのように考えても企業として良好な運営ができているとは思えない経営状況である。村においては、スキー場の現状や将来見通し、経済波及効果等を含めた市場調査と村民の意見集約などをもとにスキー場の営業継続・売却・休止等についての判断を行う必要があると思われる。

○質 疑

問 (胡桃澤) 今後、村の人口減少とともに依存財源である地方交付税の減少が予想され、併せて財政調整基金の減少も見込まれるため、ふるさと納税のさらなる活用が必要だと、監査委員からの意見もある。実際ふるさと納税返礼品の発行額に前年度と比較しても顕著な変化は現われていない。まだ、返礼品についてできる工夫があるように思うが、現在のふるさと納税返礼品に対する評価と今後の方向性について伺う。

答 (企画推進室) 現状の返礼品は現地まで来ないと消費ができない。今後は選択肢が増やせるよう、返礼品の種類についても検討を進めよう。

問 (胡桃澤) 現在の小学校において児童のいない学年も見受けられ、数年後にはさらに減少が進むことが見込まれ学校の将来が憂慮されると、監査委員からも指摘を受けている。総合戦略に基づいた移住・定住対策が行われてはいるが、どれも待ちの性格が強く、もっと積極的に動かないとこのままでは2年後、初めて卒業式が行えない年ができてしまう。移住・定住促進も含めた総合的な対策について、何か考えはあるか。

答 (教育長) 子供が少ない所へ他所から子供が入って来た時に何人まで受け入れられるか、地元の子供との割合をどうするか等が課題。保護者の意見も聞きながら検討していきたい。

問 (胡桃澤) 今年度から県が山村留学に対して支援を始めている。ゆっくり検討しているときではないので早く行動に移せるよう議論を急いでほしい。

問 (吉田) コミュニティールームの利用状況について伺いたい。

答 (教育次長) 令和4年度は月30人程度の利用を見込んでいたが玄関が新たに設置された8月以降は月60名程の利用者があり、合計では想定を上回る延べ600名程の利用者があった。

問 (吉田) コミュニティールームの開設は、住民と児童が交流できる非常に良い施設だと思う。これからも多くの村民に利用してもらえよう取り組んで欲しい。

答 (教育次長) 何かイベントがあるから人が集まるということではなく、普段から気軽に足を運べるような施設運営をしていきたい。

問 (吉田) 国民体育館について、昨年度はコロナ禍ということもあり利用はほぼなかった。体育館も老朽化しており修繕費・水道光熱費等含

め維持管理費もかかってくる。合宿はそのほとんどが夏休み期間中に集中していることから、今後は夏休み期間中空いている学校体育館を利用することも考えていても良いのではないかと。そうすることで国民体育館の維持管理費も削減できるのではないかと。

答 (企画推進室長) 今後は国民体育館のランニングコスト等も踏まえ、学校体育館の活用も検討していく。

問 (吉田) ありがとうキャンペーンについて、3,000枚発行し2,571枚の利用があったということであるが、余った要因について伺いたい。

答 (企画推進室長) 事前に必要枚数を調査し3,000枚を事業者間で按分した。事業者によっては配布枚数で足りない状況もあったため、事業者間でのやり取りも行われたが、結果使われなかった券が429枚あったということになる。

問 (倉橋) 顧問弁護士制度をどのように活用していく予定か、どのタイミングで相談するのか

答 (総務課長補佐) : 行政法律相談だと1年間のスケジュールが決まっている。すぐに相談できないので顧問弁護士を雇った。契約書の締結前に相談する。また、今後の指定管理や選定、特殊な業務委託の場合等に仕様書の作成の段階から顧問弁護士にアドバイスをもらう。

問 (倉橋) 問題が起きる前に手を打つ事が重要。2度と同じ事が起きないように尽力してほしい。

問 (倉橋) 「数年後には更に減少が進む事が見込まれ学校の将来が憂慮される。定住移住促進も含めた総合的な対策が必要と考える」と監査委員からあるが、現在実施している事や今後の予定はどのように考えているか



保育園の運動会で元気に太鼓を叩く園児達

答（教育長）令和4年度にはコミュニティルームを作り村民と学校の交流の場を作った。児童の人数が少ない事から自由進度学習を取りいれている。また、図書室も学校が開いているときはいつでも利用できるようになっている。

問（倉橋）コミュニティルームを中心として地域に開かれた学校、自由進度学習の先進的な取り組み等の観点から他の町村から視察に來ていると伺っている。課題はあると思うが今後の王滝村にとっては重要な取り組みだと思う。このように特色ある教育をする事が小学校存続に繋がると思うが村長の考えは？

答（村長）個人としては小学校はなんとか残したいと思っているが、子供や保護者の意思を尊

重しながら検討する必要がある。昨年度木曾郡全体で生まれた子供の数は85名と10年前の約半分になっている。木郡全体の問題。早めに手を打つ、例えば近隣の学校と一緒に授業をやるなどの色な方策方針があるので子供を中心に考えていく必要があると思っている。

問（倉橋）地域コーディネーターの設置が良い効果を生んでいると思う。子供たちや子育て世代は地域にとっても非常に重要になるので、しっかりと予算をとって体制を整え、「この村で子育てができてよかった」と思えるような環境になれば、移住定住にも繋がり小学校存続に繋がると思うので今後も力を入れていくように要望する

議案審議

議第57号 賛成5 反対1

王滝村教育委員の任命につき同意を求めることについて

▼法律に基づいて5名の委員で組織されている。今回は1人の委員が任期満了の為、新たな委員を任命した

議第58号 賛成多数

令和4年度王滝村一般会計歳入歳出決算認定

議第59 - 66号 賛成多数

令和4年度王滝村特別会計歳入歳出決算認定

議第67号 賛成5 反対1

令和4年度公営企業観光施設事業決算認定

議第68 - 70号 賛成多数

令和4年度王滝村一般会計歳入歳出決算認定

議第71号 賛成多数

令和5年度王滝村一般会計補正予算
▶8488万円を追加。

議第72 - 74号 賛成多数

令和5年度王滝村特別会計補正予算
▶主に水道関係で3438万円減額

議第75号 賛成多数

令和5年度王滝村公営企業観光事業補正予算
▶816万円追加。主にざぶん休止に伴う費用計上とオリオン前舗裝修繕。乗用車草刈機修繕

一般質問

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

スキー場訴訟問題や森林問題について
三浦征弘

問スキー場問題について。(1)公募を締め切っても未だに村民に知らせないのは何故か？隠さねばならない必要性はないと思うが(2)これから協議の最終目的(結論)は何か？(3)会議の内容は随時「役場だより」で報告を願いたい。訴訟問題の時のようなことはほしくない

答(納得できる答弁なかったので記載しない)
まとめこれ等について村長等の答弁には納得できるものはなかった。そこで私は教えてやった。その目的は「村内融和」でなければならない。賛成反対の二者択一の問題では解決出来ない、それではどちらになっても村内対立は続くからだ。要(目的)は「どうすれば村内融和が図られるか？」だ？これが分からず(示さず)会議をしても解決にはならない。村は自治体

村は自治体だ、村民に隠さねばならないことなど全くないはず。訴訟問題では異常な状態に終始した、裁判の論告は公開されたもの、随時村民に知らせるべきだった。隠す必要性は全くない。このような繰り返しは絶対してはならない。しかしこの件についても明瞭な答弁はなかった。

問 スキー場問題での訴訟問題の責任の取り方は正当な解決で終わった一と考えるか？

答 そう思う。

問 この件は議会が前業者（アンカー）を切るよう（行政に）働きかけたのが発端。これは村民説明会で「ふるさとの会」の発言で確認されている。ある意味村長以上に議長の責任は重い。下出議長の責任は紛れもない事実。ところがこの議長を木曾町村議長会は表彰したような行動をした。王滝村は抗議すべきだ。私は抗議集会を開催するから村長にも出席してもらいたい。私は自分の発言や行動に間違いがあれば議員生命を掛けている。

答 （答弁は記載しない）

まとめ 下出議長の責任無くて問題は終わらない

問 いつまで経って完成しない森林鉄道についてはどうか？

答 完成させる

問 本当か？間違いはないか？

答 本当だ。

まとめ 上松町は本物を 50 年。王滝村は玩具にも満たないのに未だにあんな状態、看板が泣いている。「村の恥」との声もある。それが今回の答弁で完成が確約された。完成とは一周できること。今まで村の姿勢に疑問や不安を持っていた「神奈川県的林鉄クラブ」にも伝えねばならない、関係があるからだ。ここにもスキー場問題と似たような複雑な問題がある。完成させても、断念しても。困ったことだ。

問 松原公園にあり公園を管理振興の役目がある「おんたけ観光局」の事務局がほとんど閉鎖の状態だ。こんな状態でよいのか？

答 （記載しません）

まとめ 年に数回行われるイベントはおんたけ観光局で主催している。村はここに事業（予算）を与えている。しかし事務局はこんな状態。

すると別なところでやっていることになる。これに疑問の声がある。これは最初の生い立ちから疑問だ。村には「観光総合事務所」があるからだ。組織の重複だ。

今後の財政運営の計画について

倉橋孝四郎

問 財政シミュレーションによると今後財政調整基金残高が大幅に減少していく予想だが、どのような施策で財政運営をしていくのか

答 （総務課長） 財政事情としては約 23 億円の歳入総額のうち、半分が地方交付税。地方譲与税、国県支出金等を含めると、歳入の 7 割が依存財源。その中で「欠かせない予算」に無駄はないか、事業費に有効な財源はないか、限られた財源を、無駄なく有効に使う財政運営が肝要であり、その上で尚、財源が不足するのであれば、財政調整基金の取り崩しもやむなしと考えている。

問 厳しい財政状況の中で、どこに予算をとっていくのか、どのような補助金を使って村の支出を抑えるのか、財源確保をどのような施策でおこなっていくのか、村長に伺う

答 （村長） 住民生活に欠かせない経費については確実な予算措置が必要。5つの主要プロジェクトを進め持続可能な村づくりを最終的な目標としている。5年先10年先を見越した施策とそれに対応する予算の確保が必要。下流市町を対象とした関係・交流人口の増加、農地林地の有効活用、手軽気軽な移動手段の確保、安心して子育てができる環境整備、これらの施策は予算の許す範囲で進める予定。またJクレジット制度を活用し森林整備のための財源確保を図る等検討を進めている。



学校の視察に訪れた中川村議員の方々

請願・陳情

9月定例会で審議された請願・陳情等は下記のとおりです。

- 長野県立木曽病院敷地内薬局開設反対についての陳情書（採択）
- 私立学校に対する公費助成をお願いする陳情書（採択）
- 健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情書（採択）
- 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書（採択）
- 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書（採択）

王滝村教育委員会委員選任

任期終了に伴う王滝村教育委員会委員に、巾茂幸氏（二子持区）が議会の同意を得て選任された。



編集後記

コロナも落ち着き各地域で賑わいを取り戻している。近隣を見渡すと、辰野町では空き家を活用した先進的な取り組み、伊那では森林づくりを民間レベルに落とし込み関係人口を創出。塩尻や木曽でも地域を盛り上げるいくつもの仕組みが動きだしている。活性化している地域に共通している事はおそらく「規制緩和」だと思う。ルールを守りながら、時代の流れと共に柔軟に適応させていく地域は活性化し、旧態依然の体制、意識の地域はますます衰退していく。王滝村はどうか。先人達が大切にしてきた事を引き継ぎ、どのような未来を作っていくか。「このふるさとの限らない発展を願い明るく住みよい村をつくるために…」と村民憲章にもある。その志を刻み日々の議会活動に邁進していきたい（孝）

発行/王滝村議会
編集/議会だより編集特別委員会
長野県木曽郡王滝村 3623/(電)0264-48-2001

議会日誌

- 6月
- 14日 村議会6月定例会・第2回議会だより編集委員会
- 15日 第1回王滝村総合戦略会議
- 16日 田の原天然公園の環境を守る会総会
- 20日 木曽郡議長会
- 25日 木曽郡消防ポンプ操法大会(王滝村)
- 26日 北信越町村議会議長会会長会議(福井県)
- 28日 例月監査(5月分)
- 7月
- 1日 御嶽山開山式(田の原)・王滝村、木曽町、大府市包括連携協定式(木曽町)
- 3日 木曽下伊那、中津川地域県際交流協議会監査長野県町村議会議長会あいさつ回り
- 10日 大府市議会議員表敬訪問
- 11日 中日本町村議会議長会会長会議
- 12日 全国議会議長臨時総会・全国豪雪地帯町村議会議長会総会(東京都)
- 13日 全国議会議長都道府県会長会(東京都)
- 14日 長野県町村議会議長会議員研修会(松本市)
- 15日 議会だより(161号)発行
- 17日 消防ポンプ操法大会県大会出場激励会
- 21日 リニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会
- 24日 長野県後期高齢者医療広域連合議会7月臨時会(長野市)
- 25日 例月監査(6月分)
- 27日 御嶽神社例大祭
- 31日 長野県市町村自治振興組合議会定例会事前説明(木曽町)
- 8月
- 1日 木曽郡町村議会議員総会(上松町)
- 2日 木曽下伊那中津川地域県際交流協議会総会中津川、木曽下伊那広域連携 SDGs 推進協議会設立総会(中津川市)
- 3日 長野県市町村自治振興組合議会第2回定例会
- 4日 長野県町村議会議長会役員会(長野市)
- 8日 第70回 御嶽山大御神火祭(木曽町)
- 15日 王滝村成人式
- 16日 令和4年度 決算審査(企画、観光推進室・総務課)・木曽広域連合議会議会運営委員会・総務常任委員会(木曽町)
- 17日 令和4年度 決算審査(経済産業課)・木曽広域連合議会議会 経済観光常任委員会、福祉環境常任委員会(木曽町)
- 18日 令和4年度 決算審査(福祉健康課)
- 21日 第5回議会運営委員会
- 22日 令和4年度決算審査(教育委員会)・木曽広域連合議会議会運営委員会(木曽町)
- 23日 村議会8月臨時会
- 24日 前長野県町村議会議長会監事感謝状伝達式
- 25日 長野県町村監査委員協議会総会及び研修会
- 28日 長野県地方税滞納整理機構議会8月定例会
- 29日 例月監査(7月分)・令和4年度 決算審査
- 30日 木曽南部直轄砂防推進協議会総会 上松町
- 31日 木曽広域連合議会第3回定例会(木曽町)、木曽広域連合議会御嶽山ビジターセンター山テラス王滝視察(田の原)
- 9月
- 1日 令和4年度 決算審査講評
- 2日 名古屋市民御岳休暇村 50周年記念式典及びおんたけ市民の森葬の森植樹祭(おんたけ休暇村)
- 4日 総務省内藤事務次官講演会(長野市)
- 6日 木曽地域治水対策協議会要望活動(長野市)
- 8日 木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟役員会(南木曽町)
- 12日 第3回全員協議会・第6回議会運営委員会
- 14日 王滝村総合防災訓練・長野県西部地震追悼式(松越地区・柳ヶ瀬地区)
- 21日 村議会9月定例会

